



ナオ、頑張りました！

ハズバンドリートレーニング！

人間も健康診断などで採血、つまり注射で血を採って病気は無いかな？体のなかで不調はないかな？と検査をします。

動物園の動物たちも同様に、見た目ではわからないところを採血をして健康診断や病気の予防などのために検査します。

健康管理には欠かせない採血ですが、チクリと痛い注射は嫌ですね。人間だって動物だって同じです。

嫌だと分かっても我慢しながらできる人間とは違い、動物たちに「血を採るから腕を出して～」といっても言葉では伝わりません。

大型の動物などは麻酔をして眠っている間に採血を行うことがありますが、全身麻酔は人間と同様に動物の体にも大きな負担となります。

そこで、動物園・水族館などでは「ハズバンドリートレーニング」というものを行っています。

最近では耳にすることも多くなったハズバンドリートレーニング。

麻酔をかけることや、動物を捕まえて行うのではなく、採血や体重測定などの必要な動作・行動を動物自ら進んで行うように練習（トレーニング）することです。

意図した動作・行動ができればエサなどのご褒美を与え、その動作・行動を強化し覚えてもらうといったことを言います。

他の動物でも行われているハズバンドリートレーニングですが、安全上クマや猛獣は同じ空間に入ってトレーニングを行うことが出来ないため、柵の外側に体の一部を出してもらうことで、採血などを行います。

クマでは・・・？

と、いうことで麻酔をせず採血を行うことを目標にトレーニングを開始しました。

クマの採血は前肢の※背足（はいそく）（※人間で例えるなら手の甲のようなところ？）から行います。

そのため、前肢の一部を柵外に出す練習から始めました。

まずは竹の棒を出し、そこに触れてもらいます。

触れることができれば大好きなリンゴをご褒美としてあげます。

こうすることで竹に触れるとご褒美がもらえ、良いことがおきると自発的に竹に触れるようになってくれます。

過去の一覧

[令和6年](#)

[令和6年2月](#)

[令和6年1月](#)

[令和5年](#)

[令和4年](#)

[令和3年](#)

[令和2年](#)

[令和元年](#)

[平成30年](#)

[平成29年](#)

[平成28年](#)

[平成27年](#)

[平成26年](#)

[平成25年](#)

[平成24年](#)

[平成23年](#)

[平成22年](#)

[平成21年](#)



(柵の間から竹に前肢で触れるナオ)

トレーニングを重ねるうちに柵に対して前肢を縦に出すことで爪や背足が出せるようになってきました。

ナオはトレーニングに積極的ですぐにこの動作を覚えてくれました。

しかし、ここで問題が発生！？。

獣医さんが採血を行う際に画像の状態では血管が見えるところまで柵外に前肢の背足が出ておらず、このままの柵の形状では採血は難しい…。



この状態では前肢はでるものの柵の間隔が狭いため、採血する背足が柵外に出ない…

そこで！

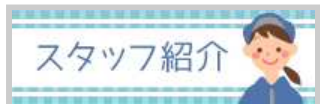
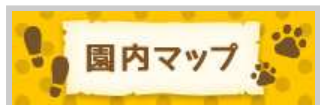


カテゴリ

[全てのスタッフ](#)

[動物園ブログ](#)

[飼育員ブログ](#)





そこで柵の一部を切断し、採血専用の装置を自作しました！

安全面にも十分に配慮し、使わない時は鉄板で蓋ができ、使用の際には専用の装置を取り付けて使用します。

実際に使うと以下のように、前肢を出して採血を行えます。

新しいものを設置すると怖がってしまったたりする個体も多い中、ナオは設置初日からすんなり前肢を出すことを覚えてくれ、スムーズにトレーニングが進んでいきました。



(実際に前肢を出す様子。)

@HitachiCity_Zoo さんのツイート

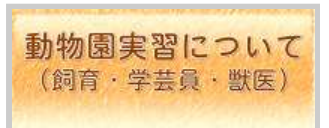
日立市... 
・2017年9月21日

爪切りの順番を、並んでじっと待っているモルモットたち。おとなしく、ずーっと待っていられますよ！
我々人間も見習うところがありますね...

 65  6万 

日立市... 
・2018年6月28日

暑い日が続きます。あまりの蒸し暑さに少しうんざりした様子のマンドリルのケンシロウでした。





(獣医師と二人体制で、前肢を装置から出している間はご褒美がもらえる。)

そして遂に…



無麻酔下での採血に成功しました！

チクリと痛いなかでも前肢を装置に出しながら落ち着いて採血を行えました。

これも当園のスーパー獣医師と頑張ってくれたナオのお陰です！

これからの目標

ナオで無麻酔採血が成功してお終い。ではありません。

当園にはツキノワグマ、ベベ♀、ヒグマのアイ♀・エリコ♀と三頭がいます。

これら残りの三頭も無麻酔での採血を目指すとともに、採血を行うことで健康診断や、病気の予防、調査研究などに役立てたいと考えています。

引き続きトレーニング頑張っていきたいと思います。



(ほんとによく頑張ってくれました。えらいぞナオ！)

【我慢は出来ますが、大人になってもやっぱり注射は嫌いな、やました】

2024年1月17日

2023年もお疲れ様でした。2024年もどうぞよろしくお願ひ致します。

2023年もお疲れ様でした！

みなさま

2023年もお疲れ様でした。

色々あり、すっかりブログの更新が2024年になってしまいました…すみません(;▽;)

改めまして、今年度4月に入園しました濱田と申します。

飼育員としてかみね動物園ならではの仕事を学びながら、ただいま奮闘中でございます。
今回はそんな私の2023年を振り返るとともに、どんな1日を過ごしているのかをご紹介します
と思います。

(冬時間の16:15閉園ver.です)

担当動物

飼育は基本的に2人1組のペアで行っていて、相方がお休みの時は相手の担当動物もお世話を
する仕組みになっています。

2人出勤の時は自分の担当動物の作業のみで、時間に余裕があるときは飼育以外の業務も行い
ます。

今回は2人出勤で、私の担当動物の作業のみの1日をご紹介します。

濱田の担当動物は現在、シマウマ・ポニー・ホロホロチョウ・レッサーパンダの4種類です。
(ちなみに代番は山下さんの担当のクマ・ビーバーです)

通常作業

AM

8:00頃 出勤
… 余談ですが濱田は住んでいる場所が遠く、朝5時過ぎに起床しています…
笑

8:15～ シマウマ展示場準備&放飼



ポニー展示場準備



8:30 朝礼

… 毎朝皆で集まって今日一日の作業や最近の出来事を共有します。

8:40～ クマのダブルチェック

… 一部の特定の動物は鍵の確認をしっかり行うため、放飼・収容時の開閉は必ず2人で確認しながら行います。

8:50～ レッサーパンダ展示場準備&放飼



エサは竹とペレットがメインで、リンゴもあげています！

エサの量はしっかり量って季節や体重に合わせてこまめに調整し、健康管理に努めています！

9:05～ ポニー放飼



無口（顔に着けるやつ）をつけて、部屋から展示場まで移動～

&蹄のお手入れ



ポニーは蹄の裏の溝にウンチや汚れが詰まるため毎日きれいにします。

そのままにしておくと、つめが腐ってしまいます。

また、蹄は爪なので毎日伸びたり、歩くと削れたりするため、バランスが取りにくくなっていくため、

人と同じように爪を切ったり削って整えたりもします。

9:30～ ポニー・シマウマ舎掃除



糞を集めて、水で流して、ブラシでこすって、きれいに流します！

10:15～ レッサーパンダ舎掃除



10:35～ その他作業 … 後ほどご紹介！

12:00～13:00 お昼ご飯♪

PM

13:00～ 13:10 クマ入れ替えダブルチェック

13:10～ ポニー寝室準備



ポニーとシマウマにお昼ご飯



13:20～ レッサーパンダ昼ごはん（竹）

13:30～ その他作業

15:00～ レッサーパンダ寝室準備

… 笹がしおれやすいため、水で葉を濡らしてなるべく遅めに笹を設置します。

餌も個体によって量を変えたり食べやすいようにペーストにしたりしています。

15:20～ ポニー展示場掃除

… 少し掃除を進めておくと最後が楽なのです！

ポニー収容&展示場最終掃除

シマウマ収容&展示場掃除



クマ収容ダブルチェック

16:15～ 閉園・レッサーパンダ収容&展示場掃除

最終戸締り確認

16:45 着替えて、（シャワーを浴びて）定時退勤！

お疲れさまでした！

その他作業

作業の時間は大体の目安です。

その日の作業や動物の体調・行動によっても変わってきます。

その間のすき間時間を見つけて、やらなければならない仕事も実は多くあります！

たとえば…

- ・レッサーパンダの主食となる竹を採りに行く



1週間に1~2回ほど車で許可をいただいている土地の竹を採りに行きます。

高さ10mもありそうな大きな竹を一生懸命切って運んでいます！

(写真は代番の山下さんが竹を切るのを手伝って下さっている様子)

- ・実は事務作業も多くあるのです…

ブログや日誌を書いたり、書類を作成したり、餌を発注する・イベントの企画を考えるなどなど…



人によって様々ですがデスクワークも欠かせません。

・ 餌の乾草を獣舎に運ぶ



シマウマ・ポニーの餌の乾草は30～40Kgもあるので運ぶのも一苦労です。

・ 壊れたところの修繕や新しいエンリッチメントを考える



・ イベントの準備をする

などなど様々です！

飼育員は飼育作業以外にもお仕事がたくさんあるのです。

2024年も出来ることを増やしてより一層頑張ります！

まだまだ作業に慣れていないことも多く手いっぱいな1年でしたが、
2024年はもっと効率よくいろんなことがもっとできるように頑張りたいと思います。

以上！濱田のとある日の1日でした。

皆様もよい1年になりますように。

2024年も、ぜひかみね動物園にたくさん遊びに来てください！

文：眼鏡を新調したい濱田

2024年1月14日

クリスマス特別イベント「サンタのガイドツアー」を行いました

クリスマス特別イベント「サンタのガイドツアー」を行いました

年もせまってきた12月23日と24日にかみね動物園ではクリスマス特別イベントを行いました。

23日と24日の午前と午後の計4回、園内のどこかにサンタが現れ、動物たちにプレゼントするというイベントです。サンタが現れる場所は予告なしの当日園内放送のみ！おかげでイベント開始10分前の園内放送を聞いてから走って移動する姿がたくさん見られました。そんなクリスマスイベントの様子を少しだけご紹介します。

(1)23日11時～

23日の午前中はカピバラ舎にサンタが現れ、みなさんと一緒にカピバラ、アライグマ、アジアゾウにクリスマスのプレゼントをしました。



カピバラにはサツマイモとフルーツのケーキを、アライグマにはペットボトルにフルーツやドッグフードを入れた物をプレゼント！駆けつけてくれたみなさんの多さに多少緊張してしまったのかカピバラはなかなか食わず、アライグマは中に食べ物があるのは分かるがなかなか持ち前の手先の器用さを活かしきれずといった様子でした。こちらの想定通りに行かないのも動物たちの魅力ですね！！カピバラとアライグマのプレゼントは夕方のごはんと一緒に食べてくれました。

そして最後はアジアゾウにはクリスマスツリーに見立てた竹にフルーツを飾り付けてプレゼント！こちらはさすがと言うべきか、器用に鼻を使って細い枝と葉を食べ、太い幹の部分は豪快な音を立て踏みつぶし完食でした！

(2)23日13時30分～

午後はクマ舎にサンタが現れ、ツキノワグマ、ライオン、キリンにプレゼントしました。





ツキノワグマにはリンゴをふんだんに盛られたサツマイモケーキをプレゼントされおいしそうに食べていました。クマというと魚や肉といったものを食べているイメージがあるようですが、実際は木の実や葉っぱ、果物などの植物性の物を多く食べているんです！そしてライオンには骨付きの肉をプレゼントボックスに見立てた段ボールに入れてプレゼント。洞窟側ではより間近で食べている姿が見られました。そして最後にキリンは枝葉を。雑食、肉食、草食といった食性の違いをサンタの解説付きで見ることができました。

(3)24日11時～

イベント2日目の24日午前中はワオキツネザル舎の前に現れ、ワオキツネザル、クロシロエリマキキツネザル、シシオザル、ホンシュウジカにプレゼントしました。



園内放送が不調で、急遽人海戦術で園内中の来園者に呼びかけたおかげでたくさんの方が集まってくれました！！キツネザルたちにはイチゴやブドウ、型抜きしたリンゴやニンジンなどをプレゼント！普段は滅多に食べられないイチゴやブドウを器用につかんでほおばっていました。ホンシュウジカにはツリーに見立てたスタジイに型を抜いたリンゴやニンジンをプレゼント！サンタと一緒にいるトナカイ本人からシカとトナカイとの違いを解説してもらいました。

(4)24日13時30分～

24日の午後はフラミンゴ舎に現れ、ポニー、クロサイ、ニホンザル、カバにプレゼントしました。



トリを飾るのは園長サンタです！

ポニーの所ではウマはなぜ早く走れるのかという肢のヒミツを解説しつつニンジンをみなさんに手伝ってもらいプレゼント！その後クロサイにもプレゼントしようとしたら途中で飽きてしまったのかどっかに行ってしまいました。残念。。。気を取り直してニホンザルにサツマイモやリンゴ、ニンジンをプレゼント。こちらはほほをふくらましながら食べていました。そして最後は雪だるま型のサツマイモケーキにみんなで飾りつけてカバにプレゼントしました。

みなさんのおかげでたくさんに動物たちにクリスマスプレゼントをすることができました。お手伝いいただいたみなさんありがとうございました。

今年のクリスマスイベントもお楽しみに！！

2024年1月8日
